

飯山まちづくりデザイン計画書



平成 23 年度

飯 山 市



(表紙の写真)

～称念寺 山門（飯山市奈良沢）～

山門の石畳とその両側に白砂を敷き詰め帯目が付けられた空間は、シンプルでありながら落ち着きと品格を醸し出している。



(表紙のロゴマーク)

～いいじゃない いいやま～

飯山市の鳥であるオシドリをデザイン化し、「いいんじゃない」は現代社会が抱えるストレスや悩みから解放してくれる言葉にも感じられ、新しく面白い発想が評価された。

「日本にふるさと飯山を学ぶ・感じる・発信する」いいやまPR企画コンテスト優秀賞作品。

目 次

序 章	デザイン計画の背景と目的	
序-1.	はじめに ～背景と概要～	1
序-2.	計画のねらい	2
序-3.	計画の構成と内容	3
第1章	現状把握と分析	
1-1.	現地調査と分析	4
1-2.	都市構造の分析	19
1-3.	市民活動状況の把握	27
第2章	まちづくりの方向性	
2-1.	まちづくりデザインの考え方	31
2-2.	まちづくり素材の分析	34
2-3.	「市民活力」が魅せるまちづくり（ソフト分野）	36
2-4.	「修景」によるまちづくり（ハード分野）	37
第3章	まちづくりコンセプト	
3-1.	まちづくりをデザインすること	39
3-2.	まちづくりの競争戦略ストーリー	39
3-3.	まちづくりコンセプト	40
第4章	まちづくり推進エリアと魅力向上プロジェクト	
4-1.	まちづくり推進エリアの設定	43
4-2.	魅力向上プロジェクト（市民と協働のまちづくりプロジェクト）	44
第5章	まちづくり推進エリアのデザインイメージ	
5-1.	推進エリアの位置づけ	50
5-2.	まちづくりデザインイメージ	51
	飯山駅周境界限のまちづくりイメージ（推進エリア1）	51
	愛宕寺町境界限のまちづくりイメージ（推進エリア2）	55
	飯山城跡公園・人形館境界限のまちづくりイメージ（推進エリア3）	59
	広小路境界限のまちづくりイメージ（推進エリア4）	62
	商店街境界限のまちづくりイメージ（推進エリア5）	64

第6章	まちづくり手法の検討（手引き提案）	
6-1.	修景の手法検討	66
6-2.	賑わいの手法検討	69
6-3.	まちの管理の手法検討	72
6-4.	実現するための課題	73
第7章	まちづくり推進プログラム	
7-1.	推進スケジュール	74
7-2.	事業計画	75
7-3.	まちづくり事業の推進	76
7-4.	まちづくりのデザイン基準と補助制度	77
参考資料		

序章 デザイン計画の背景と目的

序-1 はじめに ～ 背景と概要～

北陸新幹線が平成 27 年春に金沢まで延伸し「飯山駅」が開業します。新幹線による高速大量輸送は、地域社会・経済に大きなインパクトを与え、飯山市も新たな時代の幕開けを迎えます。

そのため平成 22 年 4 月に飯山市では、新幹線開業に向けた「アクションプラン」を策定し、市街地活性化、観光推進の目標の一つとして「まちなか観光の充実（回遊性のあるまちづくり）」を掲げました。

平成 23 年 3 月には「飯山まちづくりデザイン会議」が、アクションプランを具体的に進めるための、まちづくりデザインについて提案することを目的として設立されました。

本報告書は、デザイン会議から提案された、まちづくりコンセプトと具体的な提案、推進の方向性を実行するためのガイドラインとしてまとめるものであります。

飯山まちづくりデザイン会議提案
(平成 23 年 8 月 19 日)

住まう人は誇りに思い、来訪者は魅了される。
飯山は四季が明快である。豊かな自然に抱かれながら、歴史を大切に
にしていくことがこのまちの価値である。



提案書 (全 20 頁)



鈴木輝隆委員長から足立市長へ提案



デザイン会議顧問 中村良夫氏

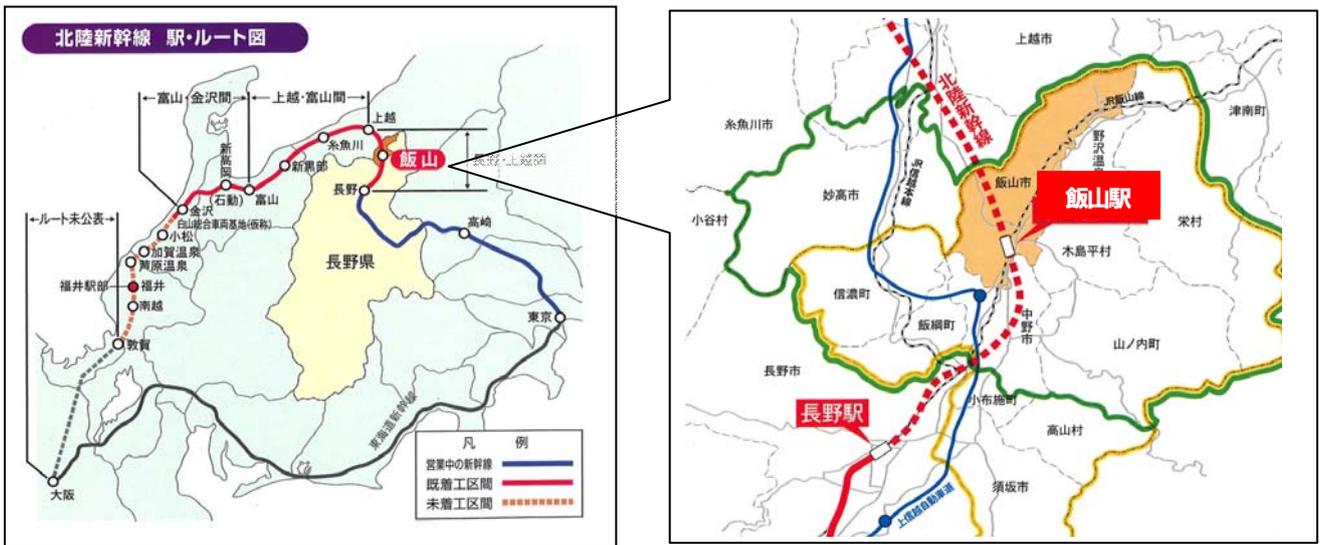


愛宕寺町のまちづくりについて説明を受けるデザイン会議委員 (5/31)

序-2 計画のねらい

「まちづくりデザイン」は、美しいまちの中で市民活動や来訪者へのもてなしを総合的にコーディネート・マネジメントし、その相乗効果によりまちの活性化を実現することを意図としています。よって、本計画で用いられる「デザイン」という言葉には、ソフト面の活性化とハード面の整備の両方を含んでおり一般的な意味合いよりも、より広い意味で用いられます。本計画は、まちづくりの望ましい方向性を見出しその実現のための施策をまとめることを目的とします。

北陸新幹線飯山駅の位置図



計画検討対象範囲図

概ね中心市街地を検討対象範囲とします。
(赤破線表示)



序一 3 計画の構成と内容

本計画は、まちなかの回遊性を高めるために以下の手順により計画を策定します。また、本計画書をガイドラインとして市ではまちづくりを展開するとともに、地域のみなさんのまちづくり活動の一助になることを望みます。

